

2008年度 日本文化人類学会

第1回 理事会 議事録

日時：2008年5月17日（土） 14:00～18:30

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 80年館・7階丸会議室

出席者：山本、赤堀、上杉、太田、大塚、鏡味、春日、岸上、葛野、栗田、桑山、佐々木、鷹木、松田、吉岡、和崎

委任状提出：窪田、坂井、須藤、瀬川、関根、名和

〔承認事項〕

1. 前回（2008年度新旧合同）理事会議事録
2. 新・再入会員（21名）につき、総務会で入会を承認したことを報告。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・2008年7月15日～23日に昆明で開催される予定であったICAES（国際人類学民族学会議）が延期となるとの連絡があり、JASCA-INFOでの配信と学会ホームページへの掲載を行なったことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・2008年度総会で黙祷を捧げる逝去会員について確認を行い、他に逝去の情報があれば庶務理事に連絡することとした。
 - ・新入会員の承認手続について、理事会の委託を受けて総務会が新入会員の承認を行ない、理事会で報告を行なうという従来からの手続を確認。
 - ・日本文化人類学会名誉会員内規（第2条1項）に基づき2名の候補資格者から、名誉会員への推戴受諾の回答があったことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・『文化人類学』ならびにJRCAの競争入札について、5月1日に入札・開札を実施したこととその結果を資料に基づき報告。
4. 総務理事報告
 - ・社会調査士資格認定機構へ、日本文化人類学会会長と担当理事の交代について文書を送付したことを報告。
5. 広報理事報告
 - ・学会誌論文の機関リポジトリへの掲載の手続方法について何件か問い合わせがあり、『文化人類学』掲載論文等利用許諾基準に基づき回答したことを報告。
6. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：5月17日に編集委員会を開催し2007年度事業計画について打ち合わせを行なったことを報告。
 - ・JRCA編集委員会：委員のメンバーを検討中であることを報告。
 - ・広報・情報化委員会：編集委員会関係のメール転送先について後日問い合わせを行なう予定であることを確認。また、各地区研究会等の情報は学会ホームページのフォームを利用して開催の2週間前までに広報・情報化担当理事に送信するものとし、当該情報はJASCA-INFOで配信するとともに学会ホームページに掲載することを報告。なお、開催まで2週間を切った情報については掲載しない場合があることも確認した。
 - ・地区研究懇談会担当委員：各地区研究会担当理事より、今後の研究会の予定等が報告された。
 - ・学会賞選考委員会：理事外委員のメンバーを検討中であることを報告。
 - ・英文論集編集委員会：委員会のメンバーを検討中であることを報告。
7. その他
 - ・第42回研究大会（於・京都大学）準備委員会より、同大会の準備状況が報告され、総会スケジュール

の確認を行なった。

- ・同大会の一部の発表を大阪テレビが取材予定であることが報告され、研究大会準備委員会で対応することが確認された。
- ・演題登録システム「J-STAGE」の発表抄録を研究大会前に公表することが提案され、準備委員会担当者で協議することとなった。

〔審議事項〕

1. 2008年度事業計画案の策定について

- ・庶務理事より、資料に基づき、修正点を中心に各項目の説明があった。特に、「17. 法人化」の事業項目を加え、学会の法人化に関する情報収集と学会の法人化の可能性の検討を開始することが説明された。なお、法人化の検討に当たっては新たな委員会を設置せず、総務会で情報収集と検討を行なうこととした。
- ・2008年度事業計画案については、次回理事会にて最終確認し、評議員会の議を経て総会に提案することが承認された。
- ・文化人類学教育特別委員会担当理事より、「08. 文化人類学教育特別委員会」の項目に「フィールドワーク教育用副読本の刊行の準備」を加えることが提案された。また、当該副読本を「日本文化人類学会学会編」とすることが提案され、次回以降の理事会で目次等の構成案を示した上で、さらに検討を行なうこととした。

2. 2008年度予算案について

- ・会計担当理事より、資料に基づき説明があった。修正箇所の確認を行い、5月31日の理事会で最終確認し、評議員会の議を経て総会に提案することが承認された。

3. 名誉会員候補資格者の理事会推薦について

- ・内規（第2条1項）による候補者資格者2名に打診の結果、両氏とも受諾された。これに基づき、2名を評議員会の議を経て総会に提案することが承認された。

4. 各種委員会の構成、新委員会等の設置について

- ・庶務理事より、①基本的には22期の委員会を継続すること、②「応用・実践人類学に関する検討委員会」を「民博連携委員会」に名称変更すること、③新たに「部会制導入検討委員会」及び「研究大会運営検討委員会」を設置することについて提案があり、承認された。

5. 倫理綱領（案）について

- ・前期（第22期）理事会より引き継いだ倫理綱領（案）について審議の結果、文言の調整を総務会が行った後に理事会メーリングリストで回覧して最終案を作成し、次回評議員会の審議を経て総会に提案することが承認された。

6. 機関リポジトリに対する対応について

- ・第42回研究大会の総会にて、以下の提案を行うことが承認された。

日本文化人類学会会員は、第72巻4号以前の『文化人類学』または『民族学研究』（*Japanese Review of Cultural Anthropology*を含む）に掲載された論文等に関して、印刷媒体または電子媒体での転載、コピー等を行う際、2007年7月31日制定の「『文化人類学』掲載論文等利用許諾基準」に準拠して行うことを申し合わせる。

7. 研究大会の運営について

- ・研究大会運営検討委員会担当理事より、5月16日に同委員会を開催し、短期的と長期的の2つの観点から今後の運営のあり方の検討を開始したことが報告された。その中で、短期的には、第43回研究大会（於・民博）での会場キャパシティを考慮して発表者数を制限することを検討し（その方法として年会費の完納済みである等の発表要件を厳守する可能性等を検討）、また、長期的には、査読制導入の可否等の議論を行なったことが報告され、理事の間で意見交換がなされた。

8. その他

- ・学会誌編集主任より、『文化人類学』への投稿原稿について、正式な査読を行なう前に編集委員会内で「プレ査読」を行い、形式不備等が認められる場合には著者へ再投稿を依頼したい旨の提案があり、同時に提示された再投稿依頼文書のひな形とともに了承された。
- ・第2回理事会を5月31日10時から11時、第3回理事会を7月19日に開催することが確認された。

以上